授業科目名・形態	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　藤田博章	実務経験の有無	無	開講期	４年後期
科目ナンバリング	W6-4015p				

【授業の主題】

本科目は精神保健福祉援助実習の意義について理解するとともに精神障害者のおかれている現状、生活の実態や生活上の困難について学習し、個別指導及び集団指導を通して精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し、実践的な技術などを体得することを目的とする。また、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を習得する。

【到達目標】

1．精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術、精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務などについて、実習体験を踏まえて確認・発表できるようになる。
2．実習記録や実習体験を踏まえた自己に求められる課題の整理と実習の総括として、実習報告書を作成できるようになる。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション　実習の整理（実習日誌・目標達成状況・自己評価の確認）
第 2 回　実習の振り返り①　個別スーパービジョン
第 3 回　実習の振り返り②　個別スーパービジョン
第 4 回　実習の振り返り③　グループスーパービジョン
第 5 回　実習の振り返り④　グループスーパービジョン
第 6 回　実習の振り返り⑤　グループ発表
第 7 回　実習報告書の作成の仕方、作成様式の等の説明
第 8 回　実習報告書の作成①
第 9 回　実習報告書の作成②
第 10 回　実習発表準備①　プレゼンテーション資料作成
第 11 回　実習発表準備②　プレゼンテーション資料作成
第 12 回　実習発表準備③　プレゼンテーション資料作成・練習
第 13 回　実習報告会①
第 14 回　実習報告会②
第 15 回　実習報告会③

【授業実施方法】

基本的には演習（個人・グループ）で行う。

【事前・事後学習】

・実習の振り返りを中心に 30 分の予習及び演習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。
・教員の指導を受けて期日までに 実習報告書を作成し、提出すること。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編：ソーシャルワーク実習指導ソーシャルワーク実習［精神専門］、中央法規出版、2021.

【参考文献】

授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

提出物（実習報告書など）50%、実習報告会発表（プレゼンテーション資料）50%で評価する。60%以上の得点で合格とする。

【学生へのメッセージ】

実習体験を今後に活かせるよう実習内容について十二分に振り返り、自己成長につなげるように。また、１週間に複数回開講するので、遅刻・欠席がないよう心掛けること。